

<b>留 学 報 告 書</b>
------------------

記入日:2019年07月12日

所属学部／研究科・学科／専攻	商学部・商学科
留学先国	ポーランド
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文: ウッジ大学 現地言語: university of lodz
留学期間	2018年9月～2018年7月
留学した時の学年	2年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	3年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	国際政治学部 <input type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2019年7月7日
明治大学卒業予定年	2021年3月
<b>留学先大学について</b>	
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦	1学期:10月頭～3月上旬 2学期:4月上旬～6月下旬 3学期: (記入例/1学期:4月上旬～7月下旬, 2学期:9月中旬～2月上旬)
学生数	30000以上
創立年	1945

留学費用項目	現地通貨 (ズロチ)	円	備考
授業料	0	0円	交換留学生
宿舍費	440	12600円	一ヶ月
食費	400	12000円	一ヶ月
図書費	0	0円	
学用品費	約400	12000円	一年間分
教養娯楽費	300	8600円	毎月
被服費	600	18000円	靴や防寒着購入
医療費	0	0円	
保険費	0	0円	形態:使用なし、日本の保険のみ
渡航旅費	1200	35000円	学校主催のキャンプとツアーに参加
雑費		円	
その他		円	
その他		円	
その他		円	
合計	3340	98200円	

## 渡航関連

**渡航経路:**羽田-ドーハー-ワルシャワ

渡航費用

チケットの種類	
往路	無し
復路	無し
合計	123100 円

渡航に際して利用した旅行会社やガイドブックを教えてください。

チケットに関して、カタール航空を利用。HIS の窓口に行き、渡航にかんして相談。  
ガイドブックは明治大学の講習で配られる資料を熟読し、明治大学から指定される保険会社を利用。

## 滞在形態関連

1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート、大学の宿舎など)

大学の寮

2)部屋の形態

個室 OR  相部屋(同居人数2)

3)住居を探した方法:

ウッジ大学は申し込みの際に、寮を申し込むことができるので安心。ただ、寮にも当たり外れがあるのでもしへんこうしたい場合は、ISO に行き手続きが必要。

4)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

ポーランドは独自の言語があるのでもし時間があれば、基本的な言葉などは覚えていくべき。日本食などはお店を探せばかならずあります。心配なくて大丈夫です。また、現地の友達には必ず作るべきです。何か困った時助けてもらえます。留学中は日本人であることを忘れて、オープンに会話をすることをすすめます。YES と NO ははっきりしててください。授業では賢く、友達と遊んでる時は青ほっぽく演じてるのが一番友達が集まります。

## 現地情報

1)現地で病院にかかったことはありますか? 大学内の医務室/診療所や付属病院等で医療サービスを受けることは可能でしたか?

利用する機会が無かった  
 利用した:

2)学内外で問題があったときには誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか。

友達のポーランド人に対処をおねがしました。

3)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

ポーランド人の友人に電話し、事情を説明、その後警察などと連絡を取りました。

4)パソコン、携帯電話、インターネット(接続について)現地での利用はいかがでしたか。

(例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

向こうの携帯会社へ行き、2年契約をしました。何かあった時に電話番号が必要です。契約することで全く、通信の問題はありません。日本ほど高くないので契約することをお勧めします。もちろんですが、寮や大学には wi-fi があります。

5)現地での資金調達はどのように行いましたか? (例:現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

ミレニアムバンクというヨーロッパの銀行は口座開設が簡単にできます。無料です。ポーランドの留学生であることを証明するものパスポートだけで開設可能。郵便局から現地の口座に送金してもらっていました。レートを見てタイミング良ければ、損しません。

6)現地では調達できない日本から持っていきべき物があれば教えてください。

めんつゆ、自分にあった薬(お腹壊した時、熱が出た時など)、ビタミン剤もお勧めします(チョコラ BB など)

7)【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。(例:渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った、渡航前に留学先大学から指示があった、渡航後のオリエンテーションで支払いに関する案内があった等)

## 卒業後の進路について

1) 進路
<input type="checkbox"/> 就職 <input type="checkbox"/> 進学 <input checked="" type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> その他:
2) 進路決定の際に参考にした資料、図書、機関など
身の回りの話や状況
3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、或は入社すると決定した企業の名前のみでも構いません) ※1～3年生で、就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。
未定
4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。 (例: 留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。) ※1～3年生で、就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。
未定
5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。
未定
6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。
未定
7) その他を選択した方は、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。
未定

## 学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1) 留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
78 単位	<input type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由: )
2) 以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Environmental Protection Politic	
科目設置学部・研究科	国際政治学部、商学部
履修期間	2018 年 10 月～2019 年 1 月
単位数	3
本学での単位認定状況	2 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	ディスカッション (チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1 週間に 120 分が1回
担当教授	dr Natalia Ratajczyk dr Małgorzata Łapińska
授業内容	The main objective of the course is to provide the knowledge about the environmental protection politics. Intention is to provide an overview of international environmental politics and law in a global contexts, however, in some cases, with a special attention on the European regulations and some particular chosen countries.
試験・課題など	プレゼンテーション
感想を自由記入	調べてきたものをディスカッション形式で深掘りしていくので大変有意義な時間になります。

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
business ethic		ビジネス倫理	
科目設置学部・研究科	経営学部		
履修期間	2018年10月～2019年1月		
単位数	6		
本学での単位認定状況	2単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義聴講(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に180分が1回		
担当教授	dr Janusz Reichel		
授業内容	The course covers the following subjects and issues: meaning and the role of ethics in the society and economy. The course will address issue of morality and how it is justified by different theoretical concepts. Attention is paid to the typical problems of moral nature that occurs in organizations and ways to prevent these problems and their consequences. The main point of the course is to understand how different ethical theories explain moral behaviour and the real world activity. The other central issues are: interactions between environment, society and economy; a role of ethics in business activity. These areas will be explored through literature, real life case studies, presentations, class discussions and other individual or group activities		
試験・課題など	毎回授業の最初に論述式テスト		
感想を自由記入			

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Entrepreneurship and business planning		起業とビジネスプラン	
科目設置学部・研究科	国際政治学部		
履修期間	2018年10月～2019年1月		
単位数	6		
本学での単位認定状況	2単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	ゼミ形式(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に120分が1回		
担当教授	prof. dr hab. Tomasz Domanski		
授業内容	This course is oriented at the development of entrepreneurial spirit , creativity and innovation among students. Students are supposed to elaborate the concept of a small innovative company they would like to create and run during their studies or once they are graduated. Students have to find the original idea for such a company and to plan the development of this new business during three next years in selected market development .		
試験・課題など	毎授業プレゼンと講義		
感想を自由記入			

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Introduction to International Marketing Communications	マーケティング
科目設置学部・研究科	国際政治学部
履修期間	2018年10月～2019年1月
単位数	6
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義、グループワーク(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に120分が1回
担当教授	dr Małgorzata Karpńska-Krakowiak
授業内容	<p>This course will provide students with basic knowledge on marketing communications in theory and practice. Teaching programme is focused around the following topics:</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. Introduction to branding and marketing communications</li> <li>2. Basic marketing communication tools and its functions</li> <li>3. Introduction to strategic planning in marketing communications</li> <li>4. Brands, agencies, manufacturers – basic actors in marketing communications</li> </ol> <p><b>COURSE AIMS AND LEARNING OUTCOMES</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>· to provide students with a sound foundation in marketing communications concepts and practice</li> <li>· to develop basic skills necessary to start a junior career in certain areas of the marketing communications sector</li> <li>· to provide an understanding of different aspects of marketing communications from a strategic perspective</li> <li>· students gain insight into the world presented by the major media and marketing institutions, and learn the importance of research, planning, action, and evaluation</li> <li>· to inspire creativity and an attitude of inquiry</li> <li>· to encourage co-operative learning, working in teams and presenting relevant solutions to marketing issues in written and oral form.</li> </ul>
試験・課題など	プレゼン
感想を自由記入	

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Managerial Accounting		管理会計	
科目設置学部・研究科	経営学部		
履修期間	2018年10月～2019年1月		
単位数	5		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義聴講 (チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に120分が1回		
担当教授	dr Ewelina Zarzycka		
授業内容	<p>This course is an intensive study of managerial accounting concepts and their use in business decisions. The scope of the course embraces the use of accounting information for planning and control purposes in both operational and strategic decision-making.</p> <p>This course will provide an introduction to selected managerial accounting topics including cost behavior, product costing, budgeting, performance management, responsibility accounting, and relevant costs/benefits. The course comprises five broad topics: (1) introduction, (2) cost accounting, (3) decision-making, (4) working capital management, (5) budgeting</p>		
試験・課題など	期末テスト		
感想を自由記入			

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Introduction to negotiations		ネゴシエイション	
科目設置学部・研究科	国際政治学部		
履修期間	2018年10月～2019年1月		
単位数	6		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	ゼミ形式(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に90分が1回		
担当教授	dr Michał Klonowski		
授業内容	<p>In this course, you will have several opportunities to negotiate with other students using case studies based on common situations in business and in life. You can get feedback on your performance and compare what you did to how others approached the same scenario. The cases also provide a setting to discuss a wide-ranging set of topics including preparing for a negotiation, making ultimatums, avoiding regret, expanding the pie, and dealing with someone who has a very different perspective on the world. Advanced topics include negotiating when you have no power, negotiating over email, and the role of gender differences in negotiation.</p>		
試験・課題など	ビジネスゲーム		
感想を自由記入			

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Intercultural Communication			
科目設置学部・研究科	国際政治学部		
履修期間	2019年2月～2019年7月		
単位数	6		
本学での単位認定状況	2単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義聴講、グループでディスカッション形式 (チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に180分が1回		
担当教授	dr Monika Kopytowska		
授業内容	The objective of the course is to familiarize the students with the principles and the dynamics of intercultural communication, in its both interpersonal and institutional dimension. Drawing on various theories discussing language and communication in the context of culture, the course explores verbal and non-verbal, implicit and explicit ways of coding, communicating and negotiating cultural meanings. Its scope of interest will thus include issues of cultural identity, collectivist vs. individualist societies, communication/negotiation styles, politeness and indirectness in communication, conceptualization of time and space, linguistic manifestations of power, nonverbal communication, etc.		
試験・課題など	プレゼンテーション、テスト		
感想を自由記入			

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Global Business Challenges - Business Game			
科目設置学部・研究科	経営		
履修期間	2019年2月～2019年7月		
単位数	6		
本学での単位認定状況	2単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義聴講、プレゼンテーション、ビジネスゲーム(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に180分が1回		
担当教授	dr Janusz Reichel		
授業内容	The main point of the course is to discover, understand and getting knowledge on: current trends in economy and society, main ethical problems that business faces nowadays, how companies can prepare for changes; and experience, while playing the business game, how the above influence the decisions made by companies		
試験・課題など	ビジネスゲーム		
感想を自由記入			

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Asian Economic Development			
科目設置学部・研究科	国際政治学部		
履修期間	2019年2月～2019年7月		
単位数	6		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義聴講 (チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に210分が1回		
担当教授	mgr Sylwia Matusiak Marcin Adam		
授業内容	<p>Week 1 (27.02): Course Introduction Basic Economic Development Models</p> <p>Week 2 (13.03): Catch-up industrialization Theory The Rise of Asian Economies</p> <p>Week 3 (27.03): Catch-up industrialization in Japan</p> <p>Week 4 (10.04): Introduction to NIEs. Catch-up industrialization in NIEs: The case study of Korea.</p> <p>Week 5 (24.04): Catch-up industrialization in NIEs: The case studies of Taiwan and Singapore</p> <p>Week 6 (08.05): Catch-up industrialization in ASEAN: The case studies of Thailand and the Philippines</p> <p>Week 7 (22.05): Catch-up industrialization in China Wrap-up discussion</p> <p>Week 8 (05.06): Final Test</p>		
試験・課題など	期末テスト		
感想を自由記入			
履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
National Culture and International Communication			
科目設置学部・研究科	国際政治学部		
履修期間	2019年2月～2019年7月		
単位数	5		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義聴講、プレゼンテーション、課外授業(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に90分が1回		
担当教授	dr Emilia Zimnica-Kuziola		
授業内容	<p>During this course the main notions and conceptions of national culture are presented. The main theoretical orientation and concepts of classical authors (F. Znaniecki, S. Ossowski, A. Kloskowska, B. Szacka) and modern researchers constitute an important part of course. Another crucial topic is international communication. This part of the lecture is devoted to such problems as migration, assimilation, unification, international cooperation and exchange, cultural distances and so on. Classes consist of lectures and individual work by each student.</p>		
試験・課題など	レポート、プレゼンテーション		
感想を自由記入			



履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Doing Business in East Asia and South Asia (project management)	
科目設置学部・研究科	国際政治学部
履修期間	2019年2月～2019年7月
単位数	2
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	ゼミ形式 (チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に90分が1回
担当教授	dr Marcin Socha
授業内容	The aim of the course is providing students with the characteristic of doing business and conducting business negotiations with Asian partners. Students will receive training on cultural differences and their impact on business negotiations. Students will participate in workshops on managing a company and problem-solving during negotiations. Each student is obliged to prepare and present his or her company or business venture, based on cooperation with partners from East Asia.
試験・課題など	レポート、プレゼンテーション
感想を自由記入	

### 留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。例：語学試験の勉強、選考、出願、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等

2017年 1月～3月	留学を考え、外部の留学斡旋会社を訪問
4月～7月	国際団体 NICE やキャンパスメイトに入り英語に触れる機会を創出。学校の留学制度を調べ、必要なものことの洗い出し
8月～9月	IELTS の勉強をしながら、海外旅行。また短期留学プログラムへの応募
10月～12月	長期留学の出願
2018年 1月～3月	明治のプログラムで UCD に短期留学
4月～7月	第二外国語の資格取得、トビタテなどの準備
8月～9月	ビザなど留学準備
10月～12月	留学、新しい環境に対応しつつ、ポーランド語の勉強
2019年 1月～3月	留学
4月～7月	留学。帰国した際のインターンなどを調べていた。就活。
8月～9月	インターンの試験、インターンに通いながらゼミの活動
10月～12月	未定

## 留学体験記

留学しようと決めた理由	留学の目的と学習計画: 挑戦し続ける環境に身を置くこと。学習計画はビジネスプランニングを中心に選びました
留学のためにした準備, しておけば良かったと思う準備	準備をしておくべきことは、ビザ申請の手続きの仕方と必要書類の確認方法です。ウッチ大学は基本的に情報(寮の手続き、学校スケジュール)の公開が遅いです。その情報の中に、ビザ申請時に必要なものもあります。ですから今自分が申請の為に何が出来るのか、足りない書類、情報は何なのかを把握しておくことでビザ申請で困ることがなくなると思います。 外国語能力: 語学留学は春の短期で準備をし、そつなく話せる程度まではレベルをあげときました。
この留学先を選んだ理由	ポーランドに留学するということがとても面白いと思った。なぜなら人と違ったことをしてみたいという気持ちとポーランドのウッチ大学ではビジネスに関する授業がヨーロッパでトップクラスであったということ。
大学・学生の雰囲気	授業はとても真面目ではありますが、授業時間外はとてもハッチャケます。オンオフの切り替えがしっかりできる生徒たちであったので、その雰囲気に引っ張られ良い方向へと生活、勉強が進みました。
寮の雰囲気	寮に関しては、様々なレベルがありますが、自分たちは新しくできたばかりの寮だったため、バスルームは部屋にひとつづつありました。キッチンも共同スペースとなっています。私たちの部屋には冷蔵庫があり、部屋に一台あります。冷蔵庫がない寮もあります。ルームメイトが明治大学の日本人と同じだったり、同じ階に日本人が揃っているため、夕飯は共同で作って毎日自炊を楽しんでいます。もちろん節約にも繋がります。情報の共有などがしやすく、私たち自身とても恵まれているとおもいます。以下が日常生活についてです。空いてる時間は友達と過ごす時間に使っていました。また食事を共にすることもあります。
交友関係	留学先大学について私が感じたことは、いい加減な部分が多い大学ではありますが、それ以上に魅力があります。アメリカの大学にはない、多くの国の留学生と友達になり、意見交換ができます。教授などもポーランド出身の方がいますが、私が受けている授業ではロシア出身やイギリス出身の方で話す英語の質、発音、選ぶ単語など全く違います。なれるまでに時間はかかりました。多様性のある大学です
困ったこと, 大変だったこと	英語を話せる人が少ないという点
学習内容・勉強について	授業については、少人数制でディスカッション方式が通常です。しっかりと予習をしなければ、授業に参加できた気持ちにはなれません。日本にいた時よりも勉学に勤めています。授業を受けてる生徒がマスターの方が多いため授業のレベルが高い理由だと思いました。一つ難点なのは、授業が休講などメールで連絡してくれるわけではなく、教室に行って初めて分かります。しかし学校に行くことに意味があります。誰かとコミュニケーションを取る機会です。進んで学校に行きましょう。また、毎日英語とポーランド語の勉強だけは欠かさず行いました。

課題・試験について	それぞれですが、プレゼンテーションが基本です。また、毎日しっかり復習していれば授業内で完結して、テスト勉強はいらないと思います。ただ一夜漬けはとてもきついです。資料の量が多かったです。
大学外の活動について	
留学を志す人へ	第二言語を勉強してください。マイノリティーになることを恐れないでください。留学は勉強だけではありません。生活すべてが学習の場です。経験値をできるだけ積んでくれるよう、毎秒勉強であることを忘れないでください。

## 一週間のスケジュール(例)

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
午前中	work shop	授業		宿題 or 予習			
		授業	授業		ジム	宿題 or 予習	
午後	授業	宿題予習	授業	授業	宿題予習	交流会	
		宿題予習	ジム	授業		ジム	
夕刻	ジム		宿題	交流会	交流会	宿題 or 予習	
夜	宿題	交流会	交流会	交流会	交流会	交流会	宿題 or 予習